

ひまわり

令和7年5月号



↑カラー版はこちらから

『燦（やわらぎ）』

校長 門脇 伸也

5月の連休を過ぎて、お子様は学校生活にほぼ慣れてきた頃だと思えます。6月に入るとプール指導が始まります。保護者の皆様には、改めてお子様の体調の管理をよろしくお願いいたします。沖縄県では梅雨入りしたとの報告も伝わってきました。また、気圧の変化に敏感なお子様に至っては、体調が優れない症状が現れやすい季節でもあります。

さて、半日校外学習などで学校の近隣周辺へと出掛けての学習が始まります。晴れた日の新宿中央公園内の散策は、季節の移り変わりを学習する良い機会となります。ということで、先日、通勤の途中で新宿中央公園を覗いて来ましたところ、たくさんの紫陽花（＝あじさい）の枝に、小さいながら花開いているものや今にも咲き出しそうな花芽の付いているものがたくさんありました。紫陽花の種類と大小の花の大きさや形、色の違いを鑑賞する中で、ふと、「緑鮮やかに、あじさいも咲き誇る」と書かれた某旅行雑誌の言葉を思い出しました。この光景を児童・生徒にも見せたいと何枚も写真を撮りました。掲載した写真はその一枚です。

あじさいの花一つをとっても「紫陽花の花は色が変わるんだよ」「かたつむりがいたよ」と教員からの児童・生徒への言葉掛けの様子が思い浮かびます。季節の移り変わりを直に感じることができる、公園へ出掛けていく、時には遊具にも触れることもあるかもしれません。公園でお友達と過ごす大切な時間ともなります。

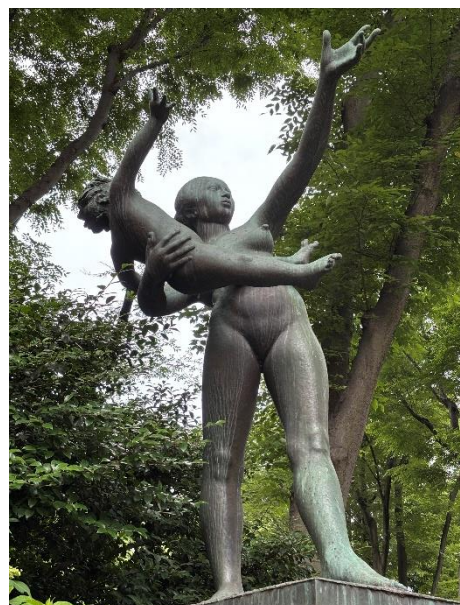
これから半日校外学習、一日校外学習と重ねて、やがて小学部高学年は宿泊体験へ、そして中学部は修学旅行へと繋がっていきます。まだ先のことと思えるかもしれませんが、季節の変わり目の体調管理について、保護者との情報交換を積み重ねていくことは、とても意味のあることとなります。

また、本校ではお子様の情報等を共有するため、放課後等デイサービスの事業所や訪問介護、居宅介護等の事業所と情報交換も進めてまいります。

皆様、関係季節の変わり目を迎えます。御身ご自愛ください。

【追伸】

園内にある「燦」と題されたブロンズ像。彫刻家・佐藤健次郎（1931～2015）の作品です。台座の銘板には「ゆっくりと溶けあう、母と子の間の温い火のように、めぐりあう心と心をあえかに暖めあおう。」と記されています。気に入っているブロンズ像の1つです。これからの時期は、あじさいの花に彩られて、一段と際立って見えることでしょう。台座の銘板「燦」の文字を見つけて、心がやすらぎました。



「はたらく消防の写生会」

4月30日(水)に、今年度も新宿消防署の消防士や地元の消防団の方々が来校してくださいました。消防士の方々の話を聞いた後に、消防車と消防団の車を見学したり、防火衣やヘルメットを着用してみたり、消防車に乗る体験をしたりすることができました。

どの児童・生徒も目を輝かせ、楽しそうに体験していたのが印象的でした。ポンプの部分、タイヤ、ホースの部分に着目している児童生徒やハンドルのある運転席に興味を持っている児童・生徒がいました。この会で見たことや体験したことを基に、図工や美術の授業で作品を描いていく予定です。



「児童・生徒会任命式」



5月9日(金)に、児童・生徒会の任命式が行われました。4月11日から立候補が始まり、写真や児童・生徒会への思いを書いたポスター作成や、全校の前での演説会、各教室を回ってアピールを行う選挙運動、投票会を経て、今年度は中学部から10名、小学部から4名の役員が選ばれました。行事の司会進行や、あいさつ運動、緑の募金活動、児童・生徒会企画、新宿養護学校の代表として、新宿区に活動をアピールする機会もあります。

学校をより良く、楽しく過ごせるような活動を行っていきます。

「ようこそ新宿養護学校へ！新入生歓迎会」

5月16日(金)に新入生歓迎会が開かれました。今年は小学部3名、中学部2名の5名を迎えました。新入生一人ひとりの自己紹介から始まり、小学部の2～6年生が作ったメダルの贈呈、学年・学部ごとの歓迎の発表がありました。会の進行、挨拶、歓迎の言葉は中学部生徒会が担当し、児童・生徒会発足後の初仕事として活躍していました。

歓迎の発表では、楽しい音楽に合わせたダンスや歌、学年の活動を紹介した劇を披露し、上級生たちの温かい歓迎の気持ちが溢れていました。最後に教職員バンドによる演奏を行い、楽しく有意義な新入生歓迎会となりました。

